

リーディングDXスクール事業【実践事例】

大阪市立住吉小学校（大阪市）

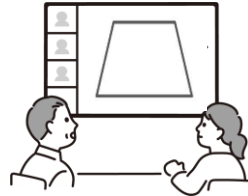
【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用

児童が使用するワークシートをクラウド上で共有して、進捗状況等常に確認できるよう工夫


投稿欄に写真を共有し、個々の発見を共有

Teams上に個々の発見を投稿することで、協働的な学びを進めています。例えば4年「垂直・平行と四角形」の学習では、校内探検で見つけた形を写真に撮って共有することで、既習の図形の定義を振り返ることができました。

1組の向かい合う辺が
平行だから台形といえ
るね。



板書を共有することで、個々の学びを保障

各教科の最終板書は写真に撮って日常的に投稿しています。欠席児童だけでなく、ノートにまとめることに時間がかかる児童も、自分のペースで学習を振り返ることができます。



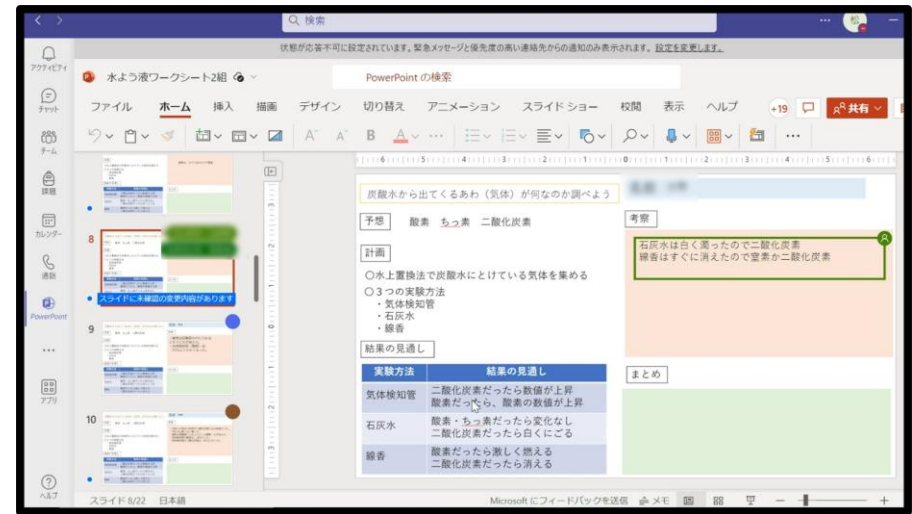
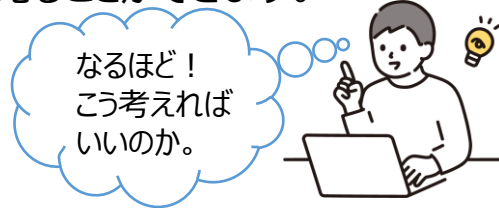
今日は裁判所
について学習したん
だね。



【取組内容①】 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた協働学習支援ツールの活用
共同編集やアンケート機能を活用し、互いの気づきから学びを深める工夫

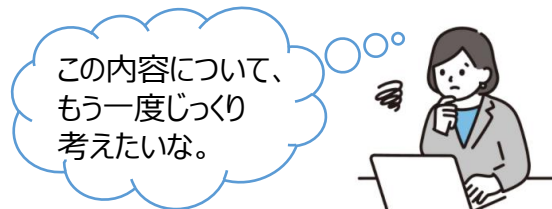
P Teams上のワークシートで解決方法を常に共有

PowerPointで作成したワークシートをTeams上で共有し、児童は自分の出席番号のスライドを自身のワークシートとして活用します。共同編集として互いの解決方法を常に見ることができます。



F Formsで学習を振り返り、自己調整へ

本時の視点をもとに理解度を図ったり、事前に話し合っただけの目標に対して自己評価をしたりします。結果は共有され、データとして蓄積されるので、自己調整の習慣化につながるよう期待しています。



【取組内容②】クラウド上の動画教材（オリジナル作成・既存の活用）を事前共有

実験動画や見本動画を事前共有することで、授業を効率化

T 実験動画は事前共有で授業を効率化

実験の手順や注意事項など、動画教材として事前に視聴するようにしています。自分のペースに合わせて、繰り返し視聴できるため手順を理解したうえで授業に臨むことができます。



T 事前視聴で学習の見通しを明確に

算数科の学習では、本時の導入から見通しまでを動画にし、事前にTeams上にアップロードしています。児童は本時のめあてや問題を把握して授業に臨むため、復習問題や応用問題といった、学習の定着を図る時間をより多く確保することができます。



割る数は5? 6?

$$(7+4+7+3+6) \div 5 = 5.4$$

答え 5.4個

$$(7+4+0+7+3+6) \div 6 = 4.5$$

↑
この0の意味は何だろう?

答え 4.5個

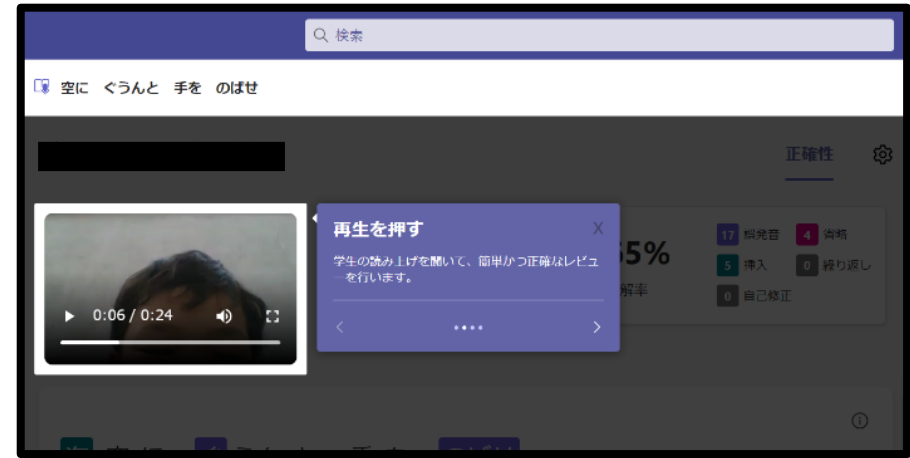
【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

発達段階に合わせた家庭学習に取り組むことで、日常的な持ち帰りを実現

T 「Reading Coach」機能を活用した音読課題

これまで日常的に取り組んできた音読課題を、Teamsの「Reading Coach」機能を活用して取り組むようにしました。自分が納得いくまで繰り返し録音でき、すぐにフィードバックされるので、改善の視点を明確に持つことができます。

読む速さに気をつけて、もう一度読んでみよう！



各学年、夏休みの課題で端末活用

クラウド上に課題を提出することで、児童の進捗状況をリアルタイムで確認することができます。例えば、アサガオの観察や調理実習、部屋の清掃や日記、デジタルドリルなど、各学年、夏休みの課題を工夫していました。

いいことに気づいているね。新学期に紹介しよう。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

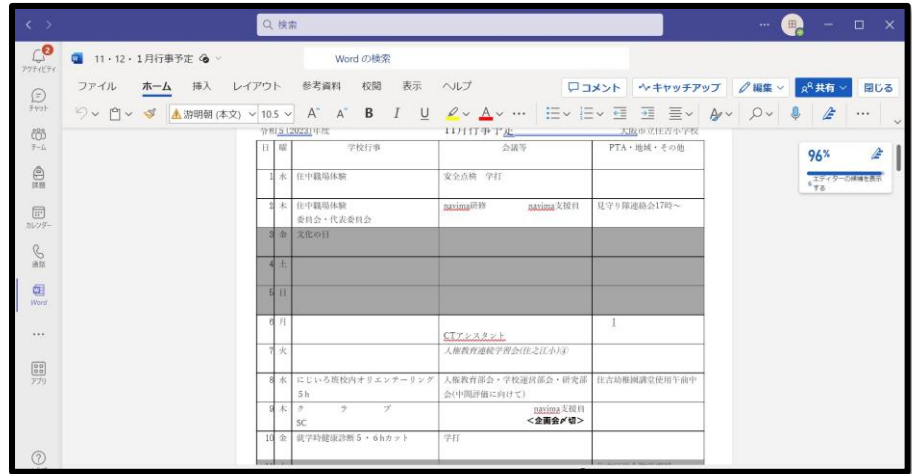
大阪市立住吉小学校（大阪市）

【取組内容④】 校務の徹底的な効率化や対話的・協働的な職員会議・教員研修

クラウド上で資料を共有したり、オンライン会議を取り入れることで、校務の効率化を実現

職員会議の案件をTeamsで共有

企画会終了後、職員会議の案件をTeams上にアップロードします。期日までに全教職員がチェックし、意見等を書き込むことで、対面での職員会議の時間を短縮しました。



指導案検討会や研究討議会の効率化

Jamboardを活用し、指導案検討会や研究討議会までに意見等を書き込むことで、議論の時間を多く確保することができました。授業者が事前に質問などを把握して討議会等に参加できるので、論点をより深めることにもつながります。

